

## 平成 22 年度食品健康影響評価技術研究の研究課題の候補について(報告)

## I 化学物質系領域

研究課題	主任研究者	所属機関
遺伝子発現モニターマウスを用いた発達期脳に対する化学物質暴露影響評価法の開発	森 寿	富山大学
フタル酸エステル生殖・次世代影響の健康リスク評価に関する研究	那須民江	名古屋大学
食品中化学物質への胎生～新生期暴露が情緒社会性におよぼす影響評価手法の開発	佐藤 薫	国立医薬品食品衛生研究所

## II 生物系領域

研究課題	主任研究者	所属機関
市販鶏卵におけるSalmonella Enteritidis汚染の疫学調査とリスク評価のための予備的研究	平山紀夫	(財) 畜産生物科学安全研究所

## III 新食品系領域

研究課題	主任研究者	所属機関
食品中ナノマテリアルの腸管吸収及び体内動態の特性を利用したリスク評価手法の開発	堤 康央	大阪大学
グリシドール脂肪酸エステルおよび3-MCPD脂肪酸エステルの安全性評価に関する研究	小川久美子	国立医薬品食品衛生研究所
用量反応性評価におけるベンチマークドース法の適用に関する研究	広瀬明彦	国立医薬品食品衛生研究所
ナノ物質の経口暴露による免疫系への影響評価手法の開発	蜂須賀暁子	国立医薬品食品衛生研究所
トランス脂肪酸による動脈硬化性疾患の発生機序の解明と健康影響評価手法の確立	平田健一	神戸大学